

スーパードッジボール大会 競技規定

- ◇ 競技人数 7人制とする。(5人以上参加可能。ただし、対戦チームの人数は合わせない。)
- ◇ 試合時間 1セット5分間。3セットマッチ。
(2セット先取し勝利が確定した場合は、3セット目は行わない。)
- ◇ 使用ボール 主催者準備ボールとする。
- ◇ 競技手順
 - ①あいさつ センターラインをはさんで両チームの選手が握手であいさつする。
 - ②コート決定 ジャンケンで自軍のコートを決定する。
 - ③選手の配置 内野4名、外野3名。7名以下の場合は外野を少なくする
 - ④開始 センターマークでの内野の選手によるジャンプボールによって試合開始。
(ジャンプボールの当事者は、1球目のみ対象とならない。)
 - ⑤競技時間 競技時間は、1セット5分とする。
及び競技終了 競技時間内であっても、一方のチーム全員がヒットされた時は競技終了となる
主審が特別に時間を止めない限り、どんな時でも競技時間は進行している。
主審の「ゲームセット」の宣言で競技は終了する。
 - ⑥勝敗の決定
 - ・時間内に相手チームの選手全員をヒットすれば、そのセットは勝利。
 - ・全員ヒットできなかった場合、ハチマキの残員数にて決定する。
ハチマキの残員が同数の場合、そのセットは引き分け。
 - ・フルセット行って同点(1勝1敗1引き分け)の場合は、3セットを通じてのハチマキの残員数で勝敗を決する。
 - ・フルセット行って同点で、なおかつ3セット合計のハチマキの残員数が同じ場合は、
※予選では引き分けとする。
※決勝トーナメントではジャンプボールで延長して、最初にヒットしたチームが勝ちとする。
- ◇ 競技ルール
 - ①ヒットとは、相手チームの内野にノーバウンドのボールを当て
そのボールが地に着くまでに相手の内野の誰も捕球できない状態をいう。
 - ②複数の内野に当たったり、触れたりしたボールを捕球できなかった場合は、
そのボールに当たり触れた内野全員がヒットされたこととなる。
 - ③ヒットされた内野選手は、すばやくハチマキを副審に渡し、外野に出る。
そして、内野をしていない(ハチマキをしている)外野選手が交代に内野に入る。
 - ④外野選手が相手の内野選手をヒットしても内野には戻れない。
 - ⑤ボールがコート外に出たときのボールの権利は、出た場所に関係なく、最後に触れた
選手の相手チームとなる。
 - ⑥ワンバウンドして当たった時は、ヒットにならない。
 - ⑦選手交代は、試合途中は認めない。
※但し、「けが」及び「体調不良」の場合はこの限りではない。
 - ⑧タイム要求は、1試合につき2回。(1回につき20秒以内)
 - ⑨ヒット者が出た場合はボールデッドとし、ヒットされたチームの内野ボールとする。
 - ⑩ラインを越えて逃げ回った場合、2回目までは注意とし3回目より相手ボールとなる。
- ◇ 反 則
 - ①コートラインを踏んだり、越えたりしてはならない。
 - ②ボールを蹴ったりしてはならない。
 - ③こけている選手に思いっきり当ててはならない。
 - ④パス回しは3回までで、4回目で投げなくてはならない。
※①～④の反則をとられると、ボールの権利は相手チームになり、
相手チーム内野より審判の笛で再開する。
- ◇ まぎらわしいルール
 - ①顔(肩から上)に投球が当たった場合は、セーフ。
 - ②相手選手が投げたボールに内野2人が続けて当たった場合は、2人ともアウト。